

活動報告

団体名	社会福祉法人 大阪ボランティア協会
活動名	令和元年 10 月台風 19 号災害<いわき>へのボランティアツアー事業 11 月
活動期間	2019/11/01 ~ 2019/11/30
活動の成果	<p>台風 19 号災害は広域被害をもたらした災害 VC を開設しても情報発信や交通の便等の影響で運営者やボランティアが不足する地域もあった。当協会が募集・派遣した職員やボランティアが応援に行くことで少しでも貢献できたと考えている。活動先の選定は既に現地入りしている NPO 等に聞き取り支援の手が足りていない被災地を選択した。また日ごろ社会貢献活動を担当している企業の担当者と情報交換や広報等のできる環境づくりを行った。支援の手が足りない災害 VC へ企業人ボランティアをつなぎ被災者支援活動を行い継続したかかわりや自分事（社会化）にできる人材を育成、現地の支援活動につなげた。また広域災害であったこともあり被災市町の刻々と変化する情報を発信することで多くの被害が発生し多くのボランティアが必要とされていることを市民に知らせることができた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>台風 19 号による住家被害数は、全壊・半壊・一部損壊を合わせて福島県が約 20,792 件（消防庁情報：2020 年 2 月 12 日現在）となっており全国最多です。メディア等の影響もあり他県での活動は活発でしたが、被害状況には違いがあり、支援状況にも大きな違いが出ました。もちろん、台風 19 号の被害は亡くなる方が多かった災害とは違うかもしれませんが。それでも床下が浸水し床板や壁板を剥がす必要があるにもかかわらず、金銭面や工務店の順番待ちで対処できない人がまだ大勢いらっしゃいます。カビに侵され朽ちていく家に住まわざるを得ない人の気持ちを考えると、自分の無力を嘆かずにいられません。今回、わずかでもこうした人々のお役に立つことができたのは、広域な災害に目を向けていただき、ご寄附いただいたみなさまのおかげです。心よりお礼申し上げます</p>

(活動のようす)

